

プログラム・デザイン・コース

■「円山動物園を活用した環境教育」 ～野生動物を通じて考える地球環境問題～

日 時: 2026 年 11 月 7 日(土) 10:00～16:30

会 場: 札幌市円山動物園(北海道札幌市中央区宮ヶ丘 3 番地 1)

定 員: 25 名

講 師: 佐竹 輝洋氏(札幌市環境局円山動物園保全・教育推進課長)

棚橋 乾氏(全国小中校環境教育研究会顧問)

集 合 時 間: 9:50(受付 9:30～9:50)

集 合 場 所: 札幌市円山動物園(動物科学館 科学館ホール)

ア ク セ ス: ①地下鉄東西線「円山動物園」駅から徒歩 15 分。バスは地下鉄東西線「円山公園駅」直結の円山バスターミナル 4 番乗り場から運行。乗車時間 5 分程。

②マイカー使用の方は、円山動物園に隣接した円山公園第一・第二駐車場をご利用ください。駐車場は有料(普通自動車: 700 円/回)です。

プログラム(予定)

9:30	受付 9:30～9:50 ※集合 9:50
10:00	開講・環境省挨拶
10:05	講師紹介・会場について 注意事項等ご案内
10:10	お互いを知る時間(アイスブレイク 自己紹介等)
10:30	講義 佐竹氏「札幌市円山動物園の取組と環境教育」
11:30	園内体験プログラム
12:00	昼食
13:00	施設見学
14:30	講義 棚橋氏「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」
15:00	グループワーク「動物園を活用した環境教育について考える」
16:00	グループ発表
16:25	事務連絡
16:30	閉講 解散

※ 当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合があります。

※ 施設見学及び体験活動は小雨決行です。雨具をご用意ください。

※ 昼食はご持参または園内のショップでお召し上がりください。

プログラム・デザイン・コース

■事業者情報(会社概要、活動概要など)

札幌市円山動物園は、1951年5月に北海道初の動物園として開園しました。その後、飼育展示動物の充実と施設の整備が図られ、現在は138種539点の動物を飼育しています(2026年3月末時点)。また、2025年1月に博物館法における登録博物館として登録されるとともに、2026年3月には地域ESD活動推進拠点としても登録されるなど、「生きた動物を展示する博物館」と「地域におけるESD推進拠点」としての役割を担っています。

また、円山動物園は開園100年目となる2050年を見据え、2019年3月に「札幌市円山動物園『ビジョン2050』」を策定し、「命をつなぎ未来を想い心を育む動物園」を基本理念とし、これからの円山動物園が進むべき道をまとめ、取組を進めています。



<動物園の役割>

①【保全】動物園の強みを生かして生物多様性の保全に貢献する

絶滅の危機にある動物を守り、命を未来へつなげるとともに、野生動物の遺伝的多様性を保ちながら飼育下で繁殖させることで、将来的な野生動物の絶滅を防いでいきます。

②【教育】自然の大切さと動物の魅力を伝える

地球規模の環境問題を解決するためには、世界中で起こっている気候変動をはじめとした様々な影響を知り、解決に向けて行動することが重要であることから、飼育している世界各地の野生動物が置かれている現状を伝え、自分ごととして環境問題を捉え、行動につなげていきます。

③【調査・研究】動物のこと・環境のことを探究する

野生動物の保全や飼育環境の向上、繁殖率向上等に向け、大学などの研究機関や民間団体などと協力して動物に関する様々な調査・研究に取り組んでいます。

④【リ・クリエーション】知的好奇心を満たす心地よい空間を創造する

動物を通じた学びのきっかけづくりを行うとともに、展示や解説などを通じて「動物園を楽しむ」という文化を根付かせるよう、取り組んでいます。

⑤【動物福祉】全ての命に最善の暮らしを

動物たちが健康で栄養状態もよく、安全で野生本来の行動が発言可能な生活を送ることができる動物福祉に最大限に配慮することは、動物を飼育する者としての責務であり、取組の根幹になることから、動物の生活の質を高める工夫を絶えず探求し、取り入れていきます。

